学校番号	323

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	自主作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年では１年の授業で学んだ基礎を発展させて、創作を試みる授業内容が中心になります。
・「漢字のルーツを知ろう」のテーマでは漢字の成立と書体変遷から入り、甲骨文・金文・篆書・隷書・草書を学ぶことで、書道史への理解を深め、同時に表現力の幅を広げます。
・篆刻では姓名印を刻し、その後の作品に押印し活用します。
・１学期後半からは創作を中心に授業を展開し、漢字仮名交じりの書大作にも取り組むことにより表現力を高めます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、暮らしに書を生かし、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深くかかわる資質・能力を育成し、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めることをめざす。
【知識及び技能】
書の表現の方式や形式、多様性などについて理解を深めるとともに書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的な諸活動を通して、理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するために必要な技能を身につけ、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に書の表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の成立	・漢字の成立(篆書)と書体変遷について理解する ・甲骨文 ・金文 ・泰山刻石 ・篆書の用筆法、字形の取り方 ・篆書の特徴	a:漢字の成立と書体変遷を理解し、各種書体に即した表現を身につけている。 b:書体や書風に即した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫し表現している。 c: 漢字の成立と書体変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的意欲的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル
	姓名篆書創作	・字書で姓名篆書検字 ・半紙4字サイズに書く ・色紙正方形にデザインして書く	a: 篆書の美とその表現技法を理解し、自己の表現技法を高めようとしている b: 篆書の用筆法と結構法を理解し、構想に基づき独自の表現を工夫している c:篆書のよさを感受し、創作の幅広い活動に主体的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル
	篆刻姓名印	・印稿 ・印材準備 ・布字 ・刻刀 ・押印 ・鑑賞	a:篆刻の用具用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。 b:篆刻のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、篆刻の表現を工夫している。 c:印刀を使いこなし、篆刻の特性を生かしながら主体的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル

二学期	漢字の書（草書）	・草書の成立 ・草書の特徴と用筆 ・十七帖 ・書譜	a:草書の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく効果的な表現の技法を身に付けている。 b:表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に草書の創造的な学習に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル
	一	書道コンクール出品 （各自古典法帖選択により）				
	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書とは ・名品鑑賞 ・書美の要素を再認識するための研究 ・構成の研究 ・墨色の研究 ・線質の研究 ・詩文のどこを作品にするか ・著作権について ・半裁作品自由創作 ・清書、押印 ・相互批評会	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身につけている。 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート 発表の様子	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル 批評カード

三学期	漢字の書（隷書）	・隷書の成立 ・隷書の特徴と用筆 ・礼器碑 ・姓名を隷書で書く ・隷書1～2字創作 ・千鳥扇に清書、押印 展示、鑑賞会	a:隷書の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく効果的な表現の技法を身に付けている。 変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に隷書の創造的な学習に取り組もうとしている。a:	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート	学活動の様子 提出作品 作品ファイル 鑑賞レポート
	仮名の書（俳句創作）	春の俳句創作 ・単体創作 ・連綿創作 ・変体仮名を利用した創作 ・散らし書き ・千鳥扇に清書、押印 ・展示、鑑賞会	a:仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。 b:表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル 鑑賞会の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度